Konica

ジャスピン ミニ

MT-100

使用説明書

各部の名称

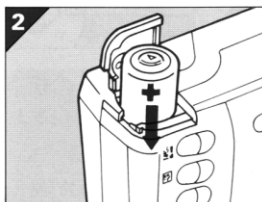
❶ファインダー窓
❷シャッターボタン
❸フィルム枚数計
❹セルフタイマーランプ
❺ストラップ取付け部
❻測光窓
❼レンズ(レンズカバー)
❽オートフォーカス窓
❾フラッシュ
❿セルフタイマーボタン
⓫夕、夜景撮影ボタン
⓬日中フラッシュボタン
⓭メインスイッチ
Konica
MT-100
KONICA LENS
AUTO FOCUS
OPEN

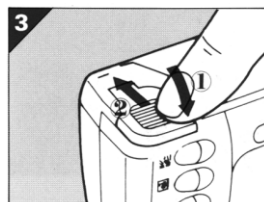
⑭赤ランプ
(フラッシュ発光と
充電中表示)
⑮ファインダー
接眼窓
⑯裏ぶた開放ノブ
⑰電池室カバー
⑱緑ランプ
(測距完了とフォーカス
ロック表示)
⑲日付・時刻表示窓
⑳オートデート
切替え・調整ボタン
㉑三脚穴
㉒フィルム確認窓
Konica
AUTO DATE
MODE
SELECT
SET

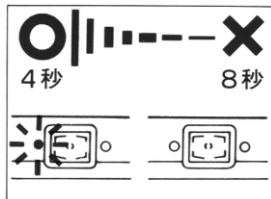
ストラップの取付け方

1
2
3

1．まず電池をいれてください

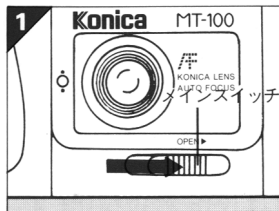
電池室カバーをスライドさせ、ふちに爪をかけてカバーを開けます。

パッケージに入っている電池を正しく入れます。

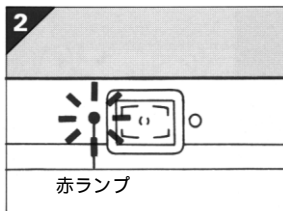
＊使用電池はリチウム電池(DL123A、CR123A:3V)１本です。

電池室カバーを閉じます。

電池の確認
レンズカバーを開き、シャッターボタンを半押しして、緑ランプが点灯すれば電池はＯＫです。

電池交換の時期

フラッシュ発光後、赤ランプが消灯するまで８秒以上かかるようになったら、電池を交換してください。

2．レンズカバーを開けてください

レンズカバーを開けないと、カメラのすべてが作動しません。

メインスイッチをスライドすると、レンズカバーが開き、電源ONになります。

＊カメラを使用しないときは、メインスイッチを反対方向にスライドしてレンズカバーを閉じ、電源OFFにしてください。

＊レンズカバーを開けたとき、赤ランプが点灯した後消えます。
点灯の間は充電中なのでシャッターはきれません。

フィルムは……

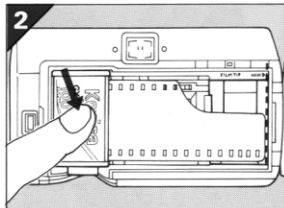
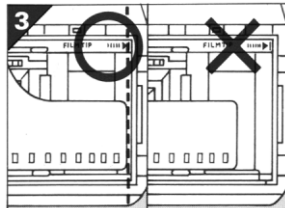
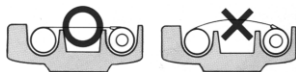
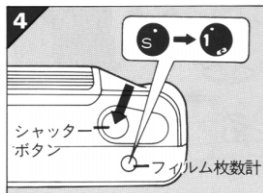
DXコードの付いた35㎜フィルム(感度ISO100，200，400)を使用してください。

＊DXコードのないフィルムは、すべてISO100に設定されます。

＊コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

3．フィルムを入れてください

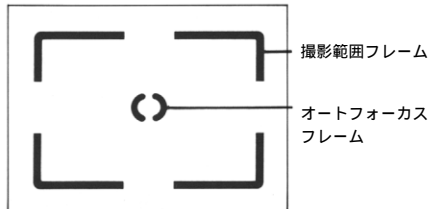
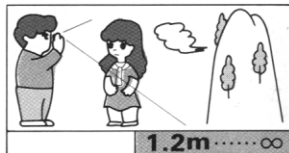
レンズカバーを開けてからフィルムを入れてください。

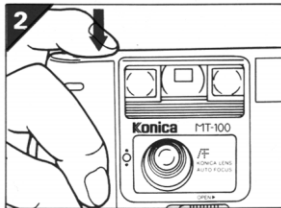
裏ぶた開放ノブをスライドして、裏ぶたを開けます。

フィルムを入れます。
＊パトローネ(フィルムの容器)を指で押さえ、フィルムが平らに出るようにします。

フィルムの先端をカメラ内部のマーク(FILM TlP ▮▮▮▮▮▶▮)に合わせ、裏ぶたを閉じます。

シャッターボタンを３回押すと、フィルム枚数計に“１”が出ます。

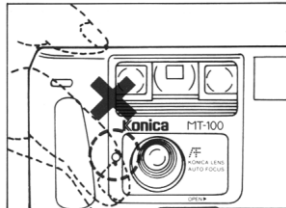
＊必ずフィルム枚数計を見ながら行ってください。Ｓの文字が動かないときはフィルムが送られていません。入れ直してください。

＊フィルムが送られていないときも、シャッターはロックされません。ご注意ください。

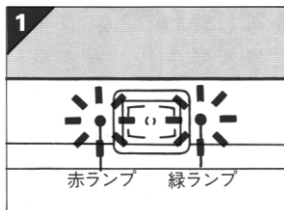
4．いよいよ撮影です

撮影前にレンズカバーを開けてください。

オートフォーカスフレームを被写体の中央に合わせ、シャッターボタンを半押しすると、カチッと音がして緑ランプが点灯しピント位置が固定されます。

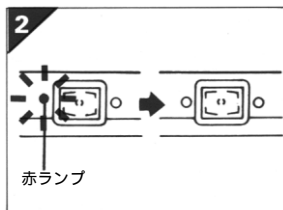
＊緑ランプと同時にセルフタイマーランプが点灯します。

シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。

＊撮影が終わるとフィルムが自動的に１コマ巻き上げられ、フィルム枚数計の数字が１つ進みます。

測光窓に指がかからないようにご注意ください。

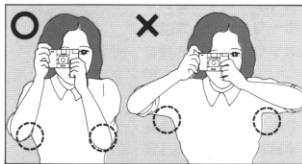
5．自動フラッシュ撮影

暗いときはフラッシュが自動発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したときは、フラッシュ撮影されます。

フラッシュ撮影の距離

ISO 100/200	1.2m～3.4m
ISO 400	1.2m～6.8m

フラッシュ撮影が終わると、赤ランプが点灯した後消えます。
消灯を待って次の撮影をしてください。

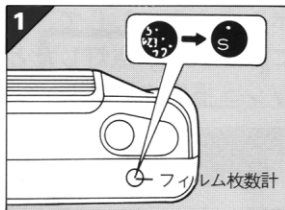
＊赤ランプ点灯の間は充電中なのでシャッターがきれません。(赤ランプはフラッシュ発光表示と充電中表示を兼ねています。)

正しい構え方

カメラ背部を頬に当て、両ヒジを軽くしめると安定します。
両ひじを開くとカメラぶれをしやすくなります。

タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上に構えてください。フラッシュを下にして発光すると写真が不自然になります。

＊指や毛髪などがレンズ、オートフォーカス窓、測光窓をじゃましないように気をつけましょう。

６．フィルムの取り出し方

フィルムが最後になると、自動的に巻き戻されます。

所定の枚数を写し終わると、フィルムは自動的に巻き戻され、巻き戻し終了で自動停止します。

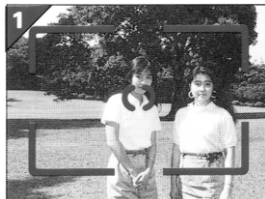
＊巻き戻し中、フィルム枚数計が逆算します。

＊巻き戻しの途中で電池の交換をしないでください。

フィルム枚数計が“Ｓ”に戻ったことを確かめた上で、裏ぶたを開けフィルムを取り出してください。

＊写し終わったフィルムは、お早めにカメラ店にお持ちになり、「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。美しいカラープリントに仕上ります。

7．フォーカスロック撮影

画面中央からはずした被写体をシャープに写すことができます。

オートフォーカスフレームを被写体の中央に合わせ、シャッターボタンを半押しすると、カチッと音がして緑ランプが点灯し、フォーカス(ピント)ロックされます。

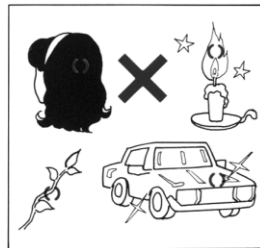
＊セルフタイマーランプが同時に点灯し、写される人も撮影のタイミングがわかります。

＊同時に自動露出もロックされます。

半押しのまま構図を決め直し、シャッターボタンを深く押して撮影してください。
被写体の位置が画面の端でもピントが合います。

＊カメラの向きを直したとき、被写体までの距離を変えないでください。

＊半押しした指を離すと、フォーカスロックは解除されます。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

● 黒くて反射しにくいもの、光沢のあるもの、発光体、小さいもの、細いものは測距しにくいので、等距離にある測距しやすいものに向けてフォーカスロック撮影をしてください。

● ガラス越しの撮影は、フォーカスロック撮影も有効ですが、カメラをガラスに密着させて写せば、正しい測距ができます。

8．日中フラッシュ撮影(フラッシュ ON)

常にフラッシュが発光し、逆光や室内窓際の人物、くもりや日陰の人物を明るくきれいに写します。

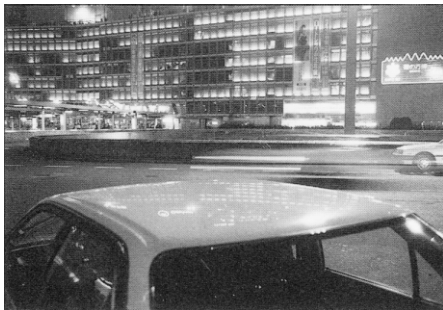
日中フラッシュボタンを押しながら、被写体に向けてシャッターをきってください。
明るい場所でもフラッシュ撮影ができます。

フラッシュ使用

フラッシュなし

９．夕、夜景の撮影(フラッシュ OFF)

夕景や都会の夜景などの雰囲気を生かした情景を、フラッシュなしで写せます。

夕、夜景撮影ボタンを押しながら、被写体に向けてシャッターをきってください。フラッシュは発光しません。1/4 秒までのスローシャッターによる自動露出撮影ができます。ISO400 のときは 1/15 秒になります。

暗くて自動露出が働かないときは、２秒の超スローシャッターで撮影されます。ISO400のときは1/2秒のスローシャッターになります。

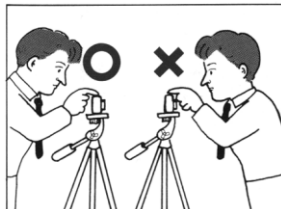
＊夕、夜景撮影では、必ず三脚をご使用ください。

＊セルフタイマーを使って、夕、夜景を撮影すると、カメラぶれが防止できます。

10. セルフタイマー撮影

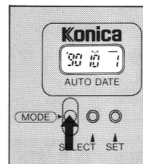
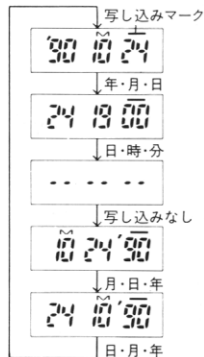
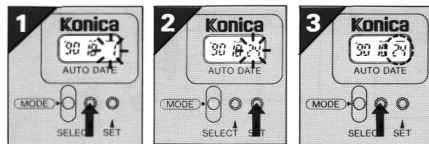
記念撮影で自分も画面に入ることができます。

セルフタイマーボタンを押しながら、シャッターボタンを押すと、セルフタイマーがスタートします。

セルフタイマーランプが点灯の後点滅し、約 10 秒後にシャッターがきれます。
暗いところでは、フラッシュが自動発光します。

＊カメラのうしろ側からシャッターボタンを押してください。前からではピントが合いません。
＊シャッターボタン半押しで、フォーカスロック、自動露出ロックができます。
＊日中フラッシュボタンとセルフタイマーボタンを一緒に押してシャッターをきれば、日中フラッシュのセルフタイマー撮影、夕、夜景撮影ボタンとセルフタイマーボタンを一緒に押してシャッターをきれば、夕、夜景のセルフタイマー撮影ができます。
＊作動中にキャンセルしたいときは、レンズカバーを閉じて電源 OFF にしてください。
＊セルフタイマー撮影では三脚が必要です。

オートデート

このカメラのオートデートは、2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、自動的に画面に写し込むことができます。

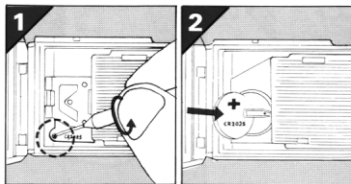
表示モードの切替え

MODEボタンを押して、年月日・日時分・写し込みなしのどれかを選びます。

日付・時刻の修正

1）MODE ボタンで日付(時分)を表示した後、SELECT ボタンを押して、修正する日付(時分)を点滅させます。

2）SET ボタンを押して日付(時分)を点滅のまま修正します。

3）SELECT ボタンを押すと点滅が点灯になり、━━ のマークが現われて写し込みの状態になります。

＊分を修正した後SELECTボタンを押すと：が点滅します。もう一度SELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

＊秒まで合わせるには、：の点滅時に時報に合わせてSETボタンを押します。さらにSELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

オートデート用電池の交換

リチウム電池(CR2025：3V)を使用しています。

およその交換時期は約４年です。デート文字が見えにくくなったら新しい電池と交換してください。

＊電池交換後デートを修正してください。

おもな仕様

項目	仕様
形　　式	レンズシャッター式オートフォーカス全自動35㎜カメラ
画面サイズ	24×36㎜
レ　ン　ズ	コニカ34㎜ F4.5(3群3枚)
シャッター	絞り兼用プログラム電子シャッター、電磁レリーズ、 2秒・1/4～1/500秒(無段階変速)
メインスイッチ	レンズカバー開放で電源ON、電源OFFでシャッターロック
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、 撮影範囲：1.2m～∞、フォーカスロック可能
露出連動範囲	ISO 100：EV11(F8・1/30)～EV15(F8・1/500)、 夕、夜景撮影時はISO 100：EV8(F8・1/4)～EV15(F8・1/500)、 EV7以下はF8・2秒
フィルム感度	自動設定(ISO 100/200、ISO400)
ファインダー	アルバダ式透視ファインダー、ブライトフレーム、オートフォーカスフレーム、接眼窓脇に測距完了表示、フラッシュ発光およびフラッシュ充電中表示
フラッシュ	手振れ限界輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、 連動範囲：ISO 100で1.2m～3.4m、ISO 400で1.2m～6.8m、 発光間隔：約4秒、フラッシュON・フラッシュOFFに切替え可能

セルフタイマー	電子式、作動時間：約10秒、セルフタイマーランプが約７秒点灯した後約３秒点滅、途中解除可能
フィルム給送	電動式、シャッターボタン３回操作によるオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止
フィルム枚数計	順算表示
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2019年までの年月日・日時分写し込みなし・月日年・日月年の切替え可能
撮影可能本数	50%フラッシュ発光のとき：約20本(24枚撮りフィルム)
電源	リチウム電池(DL123A、CR123A:3V)1本、オートデート用としてリチウム電池(CR2025:3V)1コ
大きさ・重さ	118×69×51.5mm、230g(電池別)

＊上記の性能については当社試験条件によります。

＊製品の仕様、外観は予告なく変更することがあります。